

製品名: LGR5/GPR49 (2F16) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe13292**

研究使用のみ

概要

| | |
|--------|--|
| 説明 | 組換えウサギモノクローナル抗体 |
| 宿主 | うさぎ |
| 応用 | WB |
| 反応性 | ヒト、マウス、ラット |
| 標識 | 非共役 |
| 修飾 | 未修正 |
| アイソタイプ | IgG |
| クローン性 | モノクローナル |
| 形態 | 液体 |
| 濃度 | 0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。 |
| 保存 | アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送 | 氷袋 |
| バッファー | ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02% 新型保存料 N、50% グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。 |
| 精製 | アフィニティー精製 |

応用

| | |
|------|-----------------|
| 希釈倍率 | WB 1:500-1:2000 |
| 分子量 | 100kDa |

抗原情報

| | |
|--------------|--|
| 遺伝子名 | LGR5 |
| 別名 | FEX; GPR49; GPR67; GRP49; LGR5; HG38;8 |
| 遺伝子 ID | 8549.0 |
| SwissProt ID | O75473 |
| 免疫原 | ヒト GPCR GPR49 の合成ペプチド |

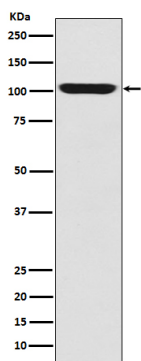
背景

R-スポンジン受容体は、標準的な Wnt シグナル伝達経路を増強し、腸管上皮および毛包の幹細胞マーカーとして機能します。R-スポンジン (RSPO1、RSPO2、RSPO3、または RSPO4) に結合すると、細胞外 Wnt 受容体によって活性化されるリン酸化 LRP6 およびフリズルド受容体と会合し、標準的な Wnt シグナル伝達経路を誘導して標的遺伝子の発現を増加させます。R-スポンジン受容体は、標準的な Wnt シグナル伝達経路を増強し、腸管上皮および毛包の幹細胞マーカーとして機能します。R-スポンジン (RSPO1、RSPO2、RSPO3、または RSPO4) に結合すると、細胞外 Wnt 受容体によって活性化されるリン酸化 LRP6 およびフリズルド受容体と会合し、標準的な Wnt シグナル伝達経路を誘導して標的遺伝子の発現を増強します。従来の G タンパク質共役受容体とは異なり、シグナル伝達においてヘテロ三量体 G タンパク質を活性化しません。胚発生後期における成体腸管幹細胞の発生および / または維持に関与します。

研究分野

-

画像データ



ヒト胎児骨格筋溶解物中の GPR49 発現のウェスタンブロット分析。